

# 平成 22 年度留学生交流実務担当教職員養成プログラム実施要項

独立行政法人日本学生支援機構

## 1. 目 的

留学生交流実務担当教職員養成プログラム（以下「研修」という。）は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）が、我が国の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、準備教育施設及び留学生関係団体において留学生交流業務に携わる教職員に対して、我が国への留学生受入れに関する分野の専門的知識を修得させること及び適切な実務研修の機会を与えることにより、我が国における留学生受入れ体制の整備・充実に資するとともに、優秀な留学生の獲得を推進することを目的とします。

## 2. 内 容

研修では、「多様かつ多数の外国人留学生に対してどのように対応するのか？」という問題意識を踏まえて、次の 2 つのプログラムを実施します。

なお、両プログラムとも、初任者対象の内容よりは高度なものとします。

### (1) Aプログラム

#### 『ポートフォリオ・アプローチによる留学生交流業務の振り返りと改善』

第三者評価の普及や教育活動についての説明責任が重視され、教育活動をどのように記録し、それを評価するかという視点から、様々な評価活動が試行されています。2008 年 12 月の中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて（答申）」の中でも、ティーチング・ポートフォリオは「教員が教育業績の記録を整理・活用する仕組み」として紹介され注目を集めています。このプログラムでは、このポートフォリオ・アプローチを利用して、国際交流にかかわる教職員が、自らの教育成果を明確かつ説得力のある形式で記録し、改善のヒントを得ることを目的とします。

### (2) Bプログラム

#### 『地方の大学における留学生受入れの現状と体制構築（地方からの発信）』

このプログラムでは、教員に多数の外国人を迎え、コンピュータ理工学を専門とする大学として福島県によって設立された会津大学の特色ある国際化の取り組み事例（外国人教員の受入れ体制整備、国際戦略本部の設立、法人化等）や福島県における留学生の現状（「アカデミア・コンソーシアムふくしま」における国際化プログラム等を含む）について紹介し、それを踏まえて、地方の小中規模の大学等が、地方から世界へ情報を発信し人材を供給することを目指した総合的な留学生受入れ体制を構築するための方策や問題点について、受講者間の意見交換、ディスカッション等を通じて考えます。

## 3. 期 日

上記 2 に掲げる 2 つのプログラムを東京及び神戸においてそれぞれ 1 回ずつ、次の日程で実施します。

なお、両プログラムとも、東京と神戸とでは同一内容となります。

#### (1) Aプログラム

東京：平成23年1月28日（金） 10:00～17:00

神戸：平成23年2月4日（金） 10:00～17:00

#### (2) Bプログラム

東京：平成23年3月17日（木） 10:00～17:00

神戸：平成23年2月10日（木） 10:00～17:00

### 4. 会場

研修の会場は、Aプログラム、Bプログラムともに、次のとおりです。

東京：TKP東京駅日本橋ビジネスセンター 3階 カンファレンスルーム3C

（東京都中央区日本橋1-3-13 日本橋中央ビル）

<東京メトロ銀座線・東西線・都営地下鉄浅草線「日本橋駅」A5出口直結又はJR線「東京駅」下車徒歩5分>

神戸：独立行政法人日本学生支援機構 兵庫国際交流会館 2階 研修室1

（兵庫県神戸市中央区脇浜町1-2-8）

<東海道本線（JR神戸線）「灘駅」下車徒歩5分又は阪神本線「岩屋駅」下車徒歩3分>

### 5. 研修コーディネータ

研修当日の研修コーディネータは、次のとおりです。

(1) Aプログラム：東京農工大学大学教育センター准教授 加藤 由香里

(2) Bプログラム：会津大学企画運営室上級准教授 氣仙 勇子

会津大学国際戦略本部助手（留学生担当） 川口 立喜

（敬称略）

### 6. 日程

別紙「平成22年度留学生交流実務担当教職員養成プログラム日程表（予定）」のとおりです。

なお、研修コーディネータの都合により変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 7. 受講対象者

受講の対象となる者は、Aプログラム、Bプログラムともに、受講申し込み時点で、外国人留学生在籍する大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、準備教育施設及び留学生関係団体（以下「大学等」という。）において留学生交流業務に携わる教職員とします。

### 8. 定員

受講定員は、Aプログラム、Bプログラムともに、原則として、東京30名程度、神戸30名程度とします。

なお、申し込み数がそれぞれの定員を超える場合は、大学等の偏りに留意したうえで、抽選により受講者を決定します。

## 9. 受講申し込み

### (1) 申し込み方法

機構のホームページ ([http://www.jasso.go.jp/study\\_j/training2010.html](http://www.jasso.go.jp/study_j/training2010.html)) \*から「平成22年度留学生交流実務担当教職員養成プログラム受講申込書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、電子メールに添付して、平成23年1月12日(水)まで(必着)に、次の電子メールアドレスに送信してください。

**申し込み先メールアドレス：ij@jasso.go.jp** (@の前は、アルファベット小文字のアイとジェイです。)

- ・電子メールの件名は、「【大学等名】研修受講申込」としてください。
- ・電子メールは、できる限り暗号化のうえ送信してください。なお、パスワードは「jasso」と設定してください。
- ・AプログラムとBプログラムの両方に申し込む場合は、優先順位を付与してください。
- ・Aプログラム、Bプログラムともに、東京と神戸とで同一内容なので、Aプログラムの東京と神戸の両方、Bプログラムの東京と神戸の両方に申し込むことはできません。

※ 機構ホームページ (<http://www.jasso.go.jp/>) にアクセスしてください。トップページ右側のバナーのうち、「留学生支援」の文字上をクリックし、ページが開いたら、左側の「メニュー」のうち、一番下の「留学生交流に携わる皆さまへ」部分の「留学生交流実務担当教職員養成プログラム」をクリックすると、当該ページが表示されます。

#### ○ 個人情報について

「受講申込書」にご記入いただいた個人情報は、研修の実施に当たって必要となる連絡事項、受講者名簿、受講者のグループ分け及び研修コーディネータ用資料を作成するための情報として利用し、その他の目的には利用しません。

なお、申し込み数がそれぞれの定員に満たない場合、機構のホームページ上で追加募集をすることがあります。

### (2) 受講決定通知等

受講決定通知は、平成23年1月17日(発送日)を目途に申込者に送付します。

また、申し込み数が定員を超えた場合に抽選を行った結果、選に漏れた申込者に対しても、同様にその旨通知します。

なお、平成23年1月20日(木)を過ぎても、機構より上記の通知がない場合は、平成23年1月24日(月)までに、必ず機構にご連絡ください。

## 10. 参加経費

参加費は無料としますが、参加に係る旅費及び宿泊費等については、各機関又は各参加者の負担とします。

なお、宿泊先が必要な場合は、各自で手配願います。

#### 本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構  
留学生事業部留学情報センター 事業計画係  
〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1  
電話：03-5520-6111 FAX：03-5520-6121  
E-Mail：ij@jasso.go.jp

## 平成22年度留学生交流実務担当教職員養成プログラム日程表(予定)

## ○ Aプログラム【東京(1月28日)・神戸(2月4日) 共通】

## 『ポートフォリオ・アプローチによる留学生交流業務の振り返りと改善』

| 時刻(時間配分)          | 内 容  |
|-------------------|--|
| 9:30~10:00 (30分)  | 受付   |
| 10:00~10:10 (10分) | 開会・本研修の趣旨説明  |
| 10:10~11:40 (90分) | <b>講義「ポートフォリオ・アプローチによる業績記録の方法」</b><br>・ポートフォリオ評価とは何か<br>・ポートフォリオ作成の目的(評価・改善)<br>・国内外の活用事例の紹介(FD・SD・教員評価)<br>・ポートフォリオ作成のプロセス<br>(講師:東京農工大学大学教育センター准教授 加藤 由香里) |
| 11:40~12:10 (30分) | 講演への質疑応答   |
| 12:10~13:10 (60分) | 昼休み  |
| 13:10~14:10 (60分) | <b>グループワーク①「業績記録としてのポートフォリオの作成と利用」</b><br>・グループごとに所属校の国際交流の状況、目標を発表しあう。<br>・ワークシートを利用して、日常業務の振り返りを行う。  |
| 14:10~14:30 (20分) | 休憩   |
| 14:30~15:30 (60分) | <b>グループワーク②「業績記録としてのポートフォリオの作成と利用」</b><br>・相互メンタリングにより、業務活動をまとめるキーワードを見つけ出す。<br>・活動の成果をどう説明するかーエビデンスの収集方法ー   |
| 15:30~15:50 (20分) | 休憩   |
| 15:50~17:00 (70分) | 各グループの発表(1グループ10分)と講師からのコメント、全体討議、閉会   |

(敬称略)

## ○ Bプログラム【東京(3月17日)・神戸(2月10日) 共通】

## 『地方の大学における留学生受入れの現状と体制構築(地方からの発信)』

| 時刻(時間配分)          | 内 容  |
|-------------------|--|
| 9:30~10:00 (30分)  | 受付   |
| 10:00~10:10 (10分) | 開会・本研修の趣旨説明  |
| 10:10~11:10 (60分) | <b>導入講演「福島県の留学生の現状」</b><br>(講師:福島大学副学長 清水 修二)                                    |
| 11:10~11:20 (10分) | 講演への質疑応答   |
| 11:20~11:30 (10分) | 休憩   |
| 11:30~12:30 (60分) | <b>講義1「会津大学の特色と留学生及び外国人教員受入れの歴史」</b><br>(講師:会津大学企画運営室上級准教授 氣仙 勇子)                |
| 12:30~13:30 (60分) | 昼休み  |
| 13:30~14:30 (60分) | <b>講義2「会津大学の留学生受入れの現状と受入れ体制」</b><br>(講師:会津大学国際戦略本部助手 川口 立喜)                      |
| 14:30~15:20 (50分) | <b>グループワーク①</b><br>・グループメンバー相互の自己紹介<br>・自分の所属する機関の取組の紹介等                         |
| 15:20~16:10 (50分) | <b>グループワーク②</b><br>・事例研究(講演者の紹介事例を踏まえ、自分の所属機関の取組との比較及び自分の所属する機関で取り入れたいこと等を検討する。) |
| 16:10~16:20 (10分) | 休憩   |
| 16:20~17:00 (40分) | 各グループの発表、全体討議、総括、閉会  |

(敬称略)